

令和8年度 第2回部長会（概要報告）

- ・日 時 令和8年4月28日（火）午前9時00分～
 - ・場 所 八尾市役所第2委員会室
 - ・出席者 市長・副市長・教育長・病院事業管理者・各部局長・理事等
-

令和8年度 第2回部長会概要記録

日時：令和8年4月28日
午前9時～
場所：8階 第2委員会室

【市長あいさつ】

皆さん、おはようございます。

令和8年度の第2回目の部長会にお集まりいただきご苦労様です。

はじめに、この後、報告がありますが、5月7日から各部局との意見交換会を開催いたします。令和8年度における重点事業や、今後を見据えたうえでの新たな取り組みや提案など、積極的な意見交換を行いたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

さて、すでに新聞報道でご存知だと思いますが、4月7日に、2026年度の国の予算が成立し、国道25号大阪柏原バイパス整備に向けた調査の開始が決定されました。令和2年に期成同盟会を結成してから、短期間のうちに、長年の課題である国道25号のバイパス整備の道筋が示されたことは市民の一人としても、大変嬉しく思っています。先日、私自身が上京して、さらなる整備促進に向けて、国土交通省と衆参両院の国会議員11人を訪問しました。

このバイパスを早期整備するには、機運醸成が非常に大きなポイントとなります。もちろん、これは行政だけではなく、八尾市・柏原市・大阪市の関連する地域それぞれがしっかりと早期整備に向けた機運醸成を図ることが非常に重要なポイントとなっており、八尾市におきましても私が先頭に立ち、すべての市民の方に、国の予算がつき、今後早期整備に向けてご協力をいただきたいというアナウンスを始めています。

これに関しては、八尾市、また大阪府下にとっても非常に大きな決定事項であり、我々行政がしっかりと市民、各種団体の方々に周知をすることで、機運醸成が図られると考えております。

今後、各部局の中で、様々な団体や市民活動をされている方のリストアップをしていただき、その方々に対して私自身がご協力をいただきたいというお願いの動きをしようと考えています。

すべての八尾市の職員がこの国道25号の新しいバイパスづくりをしっかりと周知、同じ想いを持って、早期整備に向けて取り組んでいくということが非常に重要です。

これは、安全安心にもつながることでもあり、企業活動や市民の日々の生活に非常に大きな影響を与えてくる道路ですので、ぜひ皆様のご協力をお願いします。

5月は「いじめ防止啓発月間」です。この後、報告がありますが、今年度から、八尾市独自の取り組みとして5月と10月のいじめ防止啓発月間の最終水曜日にピンクシャツ

運動を実施いたします。本市のピンクシャツ運動は4年目となり、今では、市内商業施設や企業などにも浸透してきております。

さらに、今回、教育長がリーダーシップのもと、八尾翠翔高校にオープンをしました「ほっとS」において、不登校対策というところでも同時に進めていますので、こういったところもしっかりと認識をしていただけたらと思います。

引き続き、各部局においても、様々な施策に積極的に取り組んでいただきますようお願いしておきます。

この間、全国各地で地震や山林火災など、自然災害が頻発しています。このような中、5月29日から、新たな防災気象情報の運用が開始されます。市民一人一人の命に直結する情報です。しっかりとわかりやすく市民周知していただくようお願いしておきます。

最後に、4月の人事異動から約1か月が経ちました。新しい業務の習得や、懸案となっている課題の引き継ぎなど、全庁的に忙しい時期であったと考えています。まもなくゴールデンウィークに入りますが、出勤される職員の皆さんもおられると聞いています。大変ご苦労様です。市民のため、どうかよろしく願いいたします。

案件

1 新たな防災気象情報の運用開始について

危機管理監

既にニュース等でご存じのことと思いますが、令和8年5月29日から、新たな防災気象情報の運用が開始されます。新しい気象情報の内容、主な変更点は別紙資料をご参照ください。この新たな防災気象情報は、河川氾濫・大雨・土砂災害・高潮に関する警報に、避難行動の目安となる5段階の警戒レベルが付され、とるべき行動が分かりやすく示されるようになります。

ただし、気象情報(警戒レベル相当情報)が発表されたとしても、必ずしも同じタイミングで同じレベルの避難情報が発表されるものではありません。

新しい気象情報については、ホームページに掲載しており、5月20日号の市政だよりの掲載依頼もしており、周知に努めますが、各部局におきましても、機会があれば住民の方への周知にご協力いただきますようお願いいたします。

意見なし

2 市長・副市長と各部局の意見交換会の開催について

政策企画部長

「市長・副市長と各部局の意見交換会の開催について」ご説明いたします。

実施日程の都合上、既に各部局にご調整をお願いし、日程を確定させていただいたところでありますが、例年開催しております市長、副市長との意見交換会の開催につきまして、今年度は、「令和8年度の重点事業を初めとした事務事業」及び「今後を見据えた各部局の課題や新たな取り組み」についてご報告いただき、意見交換をお願いしたいと考えております。

また、重点事業がない部局につきましても、令和8年度における課題や検討中の事業について意見交換いただければと考えております。

時間は、おおむね1時間程度を予定しており、部局長、課長以上の職員での対応をお願いいたします。なお、総務、財政、政策部門から担当含め、可能な限り同席させていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

当日の資料は、政策推進課から照会させていただき、先日、すでにご回答いただいております「令和8年度部局マネジメント戦略シート」をもとに意見交換をお願いいたします。

なお、その他、各部局にて必要と判断される資料は、別途作成いただいても結構です。忌憚のない意見交換の場となればと考えておりますので、よろしくお願い致します。

意見なし

3 令和9年度部局マネジメント戦略等の年間予定について

政策企画部長

それでは「令和9年度部局マネジメント戦略等の年間予定について」ご説明申し上げます。

まず、案件の概要についてであります。令和9年度部局マネジメント戦略についてであります。総合計画を戦略的、かつ着実に推進するため、「部局マネジメント戦略」を起点に、「実施計画の策定」「予算編成」を行うことによって、次年度の資源配分の最適化を図っているところであります。

令和9年度の部局マネジメント戦略については、基本的な流れは昨年同様、8月からの実施計画提案入力期間の前に、「重点取り組み候補」を選定するフローとなっておりますが、令和9年4月に統一地方選挙を控える年度となるため、第7期実施計画策定における重点施策及び事業内容の確定につきましては、令和9年5月とします。

よって、令和8年度は10月に市長一次査定内示とし、当初予算編成(骨格予算)につな

げることとなり、令和9年度の市政運営方針の策定についても令和9年5月に行うこととなります。

部局マネジメント戦略設定の依頼は、後日行いますが、進め方としまして、立案にあたって『マネジメント』の観点からの検討をお願いする予定であります。

以上が、案件の概要です。

続きまして、資料1「令和9年度部局マネジメント戦略について」をご覧ください。資料中段の2.「部局マネジメント戦略の進め方について」に、先ほど説明いたしました、立案に関して記載しております。(1)立案項目としましては、「部局の使命」「取り組み方針」「重点取り組み提案」等の立案をしていただきます。(2)立案にあたっての考え方としましては、限られた経営資源の中で、将来都市像の実現に必要な取り組みを戦略的に選択・重点化する「マネジメント」の考え方を基盤として検討をお願いします。

特に「重点取り組み提案」については、取り組みの優先順位付けや、既存事業の見直し・投入資源の低減などにむけた検討をしていただくことで、効率的かつ効果的な、重点取り組みへの財源配分へとつながるよう、各重点提案において新たに必要となる経営資源の捻出策を記載いただく戦略シートの様式となる予定です。

また、「重点取り組み候補」の選定時期ですが、昨年同様、8月からの実施計画提案入力期間前に提示します。なお、様式・記入例につきましては、立案依頼時にお示しいたします。

続いて、裏面をご覧ください。次に、(3)立案プロセスについてであります。先ほどの案件でご説明しました5月に実施の各部局意見交換会において、特別職と共有いただく「今年度の重点取り組み内容・方向性や各部局における課題」などの内容も踏まえ、次年度マネジメント戦略の立案をお願いすることとなりますが、立案期間は、昨年度と同程度を予定しております。5月下旬に立案依頼を行い、6月末までに各部局において立案いただくという流れとします。詳細については資料2で、それぞれご確認をお願いいたします。

各部局内での積極的なご議論を行っていただき、次年度の部局マネジメント戦略を立案いただきますようお願いします。

最後に、今後の大まかな流れについて、3.「スケジュールについて(予定)」として、記載しております。先ほども説明しましたが、令和9年4月に統一地方選挙を控える年度となるため、10月上旬の市長一次査定内示後のスケジュールが例年とは異なっております。こちらも、後ほど、ご確認いただければと思います。

以上、長くなりましたが、「令和9年度部局マネジメント戦略等の年間予定について」の説明となります。なお、本件につきましては、総務担当所属長会議においても説明することとしております。以上です。

【副教育長】

次年度は4月が骨格予算でその他のものが6月以降となりますが、教育委員会としては学校行事など4月から行う事業もあることから、政策推進課との協議の中で4月から動かせるようをお願いしたいと思います。

【政策企画部長】

4月から必要な予算は当然、骨格予算として確保できると考えています。

【大中副市長】

先ほどのご説明で、重点取り組みの提案について「経営資源の捻出」という説明がありましたが、副市長の立場としては、やるべきことは教えていただきたいと考えていますので、部局の中でどうしても捻出できないものは挙げていただけたらと思います。

【政策企画部長】

この4年間の取り組みの成果を集約し、その先を見据えた提案も市長との意見交換会の中でご提案やご意見をいただけたらとは思いますが、それを踏まえた上での重点取り組み提案の査定の結果は庁議でもお話をさせていただきます。統一地方選挙だからということ一旦置くとか、財政的に厳しいから落としたとしても、そこは必要性をさらに上げていただいた中で、復活要求という形でご説明をさせていただきます。

**4 次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法に基づく第2期八尾市特定事業主行動計画
(前期)の策定について** **総務部長**

本市では、次世代育成支援対策推進法および女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく「八尾市特定事業主行動計画」を策定し、職員の仕事と子育ての両立支援、また、女性が個性と能力を十分に発揮できるような制度整備とワーク・ライフ・バランスの推進について、取り組みを進めてきたところです。

このたび、前計画の期間満了に伴い、令和8年度から令和12年度までの5年を計画期間とする「第2期計画(前期)」を策定しましたのでご報告させていただきます。

まず、前計画においては、皆様のご協力により男性職員の育児休業取得率が57.1%まで向上し、超勤時間の削減にも一定の成果が見られました。

しかしながら、令和6年度に実施した職員アンケートでは、「周囲への気兼ね」から休暇をためらう職員や、業務の高度化による負担感を感じている職員が依然として多く、また、女性職員のキャリア形成については「仕事と生活の両立への不安」が昇任を阻む要因となっていることがみえてきました。

これらを踏まえ、本計画では「みんなが働き続けたいと思える職場づくり」をめざす姿として掲げ、これまでの取り組みをさらに強化・充実させることとし、4つの目標とそれぞれの取り組み内容を定めていますので、部局における業務管理、職場環境の整備、および所属職員への周知徹底について、特段のご配慮をいただきますようお願いいたします。

また、部局長の皆様におかれましては、本計画の趣旨を深くご理解いただき、組織全体で職員の仕事と子育ての両立を支援していくこと、女性職員の活躍を推進することについて、職員に対して強いメッセージを発信するなど、目標達成に向けた職場風土の醸成にリーダーシップを持って取り組んでいただきますよう、よろしく願いいたします。

【大中副市長】

超過勤務を超えた方の報告をもらっていますが、衆議院議員選挙事務の応援など部局の業務以外の業務は部局だけでは調整できないので、報告の取り扱いについて一度考えてもらえればと思います。

【総務部長】

超過勤務については、総合的な時間数によって職員の健康状態を踏まえて命令を行っていくものでありますので、整理してまいります。

5 八尾市市民活動支援ネットワークセンター「つどい」及び八尾市男女共同参画センター「すみれ」の移転について **人権ふれあい部長**

八尾市市民活動支援ネットワークセンター「つどい」につきましては、市民活動の中間支援のより一層の充実、市民活動の活性化が図れるよう、また、八尾市男女共同参画センター「すみれ」につきましては、認知度の向上に加え、安定的に運営できる場所を確保し、男女共同参画を推進するための拠点としての機能の充実を図れるよう、下記のとおり移転いたしますので、ご報告いたします。

まず、「つどい」についてであります。現在の市庁舎北分室からアリオ八尾2階西側本市賃借区域へ移転し、運営開始予定日を、6月1日としております。移転後の開館時間等につきましては、10時から20時30分を予定しております。そのうち、対面での相談対応につきましては、月曜日・火曜日・年末年始を除き、10時から18時の間を予定しております。なお、つどい公式 LINE の相談対応につきましては、現状どおり、随時対応いたします。

また、会議室の貸し出しにつきましては、予約制で、入退室管理システムの活用により、アリオ八尾休館の場合を除き、月曜日・火曜日・年末年始も対応することとし、貸し出し時間帯を10時から20時30分として、予定しております。その他としまして、印刷機、コピー機等の利用につきましては、既存の設備の老朽化等に伴い、移転後の運営開始日以降、終了いたします。

次に、「すみれ」についてであります。現在の社会福祉会館2階から市庁舎北分室へ移転し、運営開始予定日を10月1日としております。移転後の開館時間等につきましては、現状と同じく、9時から17時を予定しております。なお、休館日は、土曜日、日曜日、祝日及び年末年始でございます。その他といたしまして、北分室2階の会議室につきましては、優先的に「すみれ」に係るセミナーや相談等にて活用する予定としております。

以上、ご報告とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

意見なし

6 いじめ防止啓発強化月間の実施について **こども若者部長**

「いじめ防止啓発強化月間」の実施についてご報告申し上げます。

本市では、いじめが増加する傾向にある長期休み明けの5月と10月を「いじめ防止啓発強化月間」と定め、教育委員会との連携のもと、子どもたちを取り巻く人間関係や、いじめ問題への意識を改めて見つめ直す機会として、様々な広報・啓発活動を展開しております。過去のいじめ防止啓発強化月間の取組といたしましては、協力所属へのピンクビブスの貸し出しや、八尾市総合支援センター「ほっぷ」でのピンクシャツ着用、また、令和6年度にはいじめ防止シンポジウムの開催などを通じ、全庁的な機運の醸成を図ってまいりました。

さらに、令和8年3月に改定いたしました「八尾市いじめ防止基本方針」におきましても、こうした集中的な啓発期間を設ける旨を正式に位置づけ、本市のいじめ施策として明確に示したところがございます。

また、本市においては、毎年2月の最終水曜日に、いじめ反対の運動「ピンクシャツデー」を実施しており、行政・学校・企業・地域団体等が一体となり、ピンク色の物を身に着け、オール八尾市としてピンクシャツ運動を展開いたしました。今後、5月および10月のいじめ防止啓発強化月間においても、取組の一環として、各月の最終水曜日に「ピンクシャツ運動」を実施してまいりたいと考えております。

今月は5月27日(水)が対象となります。各部局におかれましても、業務に支障のない範囲で結

構ですので、ネクタイ、シャツ、髪留め、ピアス、ネイル、名札等、「ピンク色のもの」を身に着けて業務を行っていただき、いじめ反対の意思表示を行う本運動の展開にご協力をお願いいたたく存じます。その他の実施手法として、庁舎内でのポスター掲示や、八尾商工会議所を通じた、市内事業所への啓発チラシの配布や協力依頼を進めております。

以上が、いじめ防止啓発強化月間の取り組みについての報告となります。

【魅力創造部長】

河内音頭Tシャツについて、昨年度からいじめ防止啓発とコラボしてピンク色のTシャツを作っていますので、よろしければ合わせて購入を考えていただければと思います。

7 こども総合支援センター「ほっぷ」のリニューアルオープンについて

こども若者部長

「こども総合支援センターほっぷ」のリニューアルオープンについてご報告いたします。お手元の資料をご覧ください。

「ほっぷ」は、令和4年10月の開設以来、子育てに関する総合窓口として、また、令和6年4月からは、改正児童福祉法に基づき、「こども家庭センター」として位置づけ、子育て支援を行ってまいりましたが、母子保健と児童福祉の連携をさらに深め、切れ目のない相談支援体制の充実を図れるように執務室等の整備を行いました。

まず、こども・いじめ何でも相談課とこども健康課(母子保健係)を生涯学習センター学習プラザ2階に移転し、より一層一体的な支援を行ってまいります。

次に、「こども・いじめ何でも相談課」が2階に移転した後の1階スペースの活用として地域の子育てに関する情報コーナーや飲食が可能なコーナーを新設いたします。

令和8年6月1日より、この新しい執務室において業務を開始し、妊娠期から18歳まで、切れ目のない包括的な支援を推進してまいります。

最後に、新しくなった相談窓口やこれらの新設スペースを広く市民の皆様にご案内いただくため、令和8年7月12日(日曜日)に、リニューアルオープンイベント及び見学会を開催いたします。詳細が決まりましたら改めてご報告させていただきます。

以上をもちまして、こども総合支援センター「ほっぷ」のリニューアルに関する報告とさせていただきます。

意見なし

8 国道25号大阪柏原バイパス整備促進事業について

都市整備部長

先日、全職員あてにメールでもお知らせさせていただきましたが、国道25号大阪柏原バイパス整備促進事業の取り組みと国の動きについて、改めてご報告させていただきます。

国道25号は、慢性的な渋滞により、市民の生活や企業活動にも、大きな支障をきたしています。また、近い将来発生が予測されている南海トラフ地震などの大規模災害時には重要な役割を果たす道路整備が急務となっています。

バイパスが整備されますと、抜本的な渋滞解消にとどまらず、防災力向上や地域経済の活性化など様々な事業効果をもたらすものとなります。詳しくはホームページをご覧ください。

これまで、令和2年度に柏原市、大阪市と国道25号大阪柏原バイパス整備促進期成同盟会を設立し、大阪府とともに、「国道25号大阪柏原バイパス」の整備について要望してまいりましたが、このたび、国により事業の必要性・効果等について調査していただけることとなりました。これは、「国道25号大阪柏原バイパス」の実現に向けての大きな第一歩となります。

今後、事業化に向けてステップアップしていくためには、地元の熱意を国に届けることが重要となりますので、各部局におかれましては、機運醸成にご協力いただきますようお願いいたします。

【政策企画部長】

国の機運醸成はどのようなものが評価されるのですか。

【都市整備部長】

具体的なところはわからないところですが、要望するだけでは地元がどれくらい望んでいるかが分からず、国としては事業を進めるときに地元に対抗があったら次のステップに進めない、問題がないという姿勢を見せていくことが機運醸成と考えます。

【市長】

現状は、道路調査をするというテーブルに上がっただけです。今同じ段階の道路調査をしているのは、近畿圏内で10本程度あります。機運醸成が図られているところで2、3年で次のステップに進むところもあれば、10数年かかるところもあります。先日、期成同盟会の促進大会を開催し、当日は大阪知事、大阪市長、柏原市長、国交省の高官、商工会議所の会頭も参加しましたが、これは大きなインパクトになりました。今後このようなことを開催しなければなりません。

都市整備部だけではなく、企業活動、災害活動などすべての部局にかかわることなので全部局に協力をお願いします。

9 八尾市教育委員会と大阪府教育庁、大阪府立八尾翠翔高等学校が連携した居場所「ほっと S」について

教育監

教育委員会では、大阪府教育庁および府立八尾翠翔高等学校と連携し、不登校児童生徒の新たな居場所「ほっと S」を令和8年4月16日に同校内に開設しました。本件はこれまで議会や報道等でも取り上げられており、一定ご承知の内容ではございますが、改めてご報告いたします。これまで関係機関と連携し、着実に準備を進めてまいりました「ほっと S」が、いよいよ開室を迎えたものでございます。本事業は、小・中・高校生を対象とした居場所を府立高校内に設置する全国的にも例のない画期的な取組であり、子ども一人ひとりの状況に応じた支援の一層の充実を図るものです。

「ほっと S」は同校生徒会が命名し、「スペース」「ステップバイステップ」「スタート」の意味が込められています。高校生サポーターや教職志望の生徒、担当職員との関わりを通して、子どもたちが多様な人とのつながりの中で自己肯定感を高め、進学や将来への夢や希望を育むことをめざしております。また、高校の多様な教育資源を活用し、興味関心を広げ、次のステージへの一歩につなげてまいります。

4月16日にはオープニングイベントを開催し、市長、副市長、こども若者部長をはじめ、多くの関係者にご出席いただきましたことに心より感謝申し上げます。会場では事業説明や施設見学、意見交換を行い、「新たな支援の形として期待できる」などの声が寄せられ、理解と連携を深める有意義な機会となりました。

今後も、多様な居場所づくりを通じて、不登校児童生徒一人ひとりに寄り添った支援を推進し、「誰一人取り残さない八尾の教育」の実現に努めてまいります。

以上報告とさせていただきます。

意見なし

- ・その他

総務部長より、令和8年度人事評価の実施時期等についての報告がなされた。